




世界に希望を生み出そう
2023-24 年度 RI テーマ
CREATE HOPE
in the WORLD
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2023-24 年度
会長：渡邊博文 副会長：漆畑雄一郎 幹事：富澤賢一 副幹事：中山恵喜

例 会 第 1 5 1 2 回 通常例会/小杉苑

ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：鈴木照寛君

■ 会長挨拶

渡邊博文君



1991 年 5 月 28 日に設立され、同年 7 月に初代富澤静雄会長のもとに 38 名の会員を集めスタートされました。私で、33 代目の会長となりました。多くの会長経験者、所属されてきた会員の皆様のご努力に敬意を表すとともに、現在この時を迎えることができることに感謝申し上げます。33 とい数字は両耳にも見えます。33 代目の私は、人の話をよく聞きしっかりと腰を据えて、足元を確かめ、ゆっくりと進めよと言う意味に感じました。

また、本日は、小池吉徳さんを新会員に迎えることができました。大変嬉しく思います。ただ今は、48 名でスタートを切ることができました。富澤静雄初代会長の年度は 38 名でスタートしその年度に 10 名拡大し 48 名となりました。同じスターラインになりました。あと、50 名まで少しです。また、素晴らしい、相応しいメンバーを増やせればと思います。

このように大変お忙しい中参加されている皆様のお時間を預かる身にとって、大きな責任を感じています。すべての皆様が有意義な時間を過ご

せることができ、明日への活力につながるような例会運営に努めて参ります。

来年度は RI2620 地区静岡第 4 グループのガバナー補佐を輩出しインターシティミーティング開催いたします。連携を取って次年度に繋げていきたいと思ひます。

一年間よろしくお願ひいたします。

■ 出席報告

杉浦聡君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
42/48 87.5%	42/48 87.5%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○伊藤彰君 ○植田君 ○川口君 ○早川君 ○渡邊芳君
中村君

(1) メイクアップ者

食事準備数	食事提供数	残	累計残
45	44	1	1

パーフェクト例会数:

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルBOX

杉浦聡君

・会員の皆様にとって有意義なロータリーライフになる様がんばりますので、宜しくお願ひ致します。
渡邊博文君

・渡邊会長を全力で支えていきたいと思いたすので、一年間宜しく願いいたします。

富澤賢一君

・誕生日プレゼントありがとう！ 富澤静雄君

・誕生日プレゼント有難うございます。

朝比奈紜君

・誕生日プレゼントありがとうございます。

今月から後期高齢者になりました。

渡辺哲朗君

・妻の誕生日プレゼントありがとうございます

小林正敏君

・誕生日、結婚記念のプレゼントありがとうございます。

内藤浩光君

・55才の誕生日プレゼントありがとうございます。

GO!GO!で 頑張ります!! 平原望君

・誕生日プレゼントありがとうございます

本年度は親睦委員長として頑張っていきます
皆様あとおし よろしく願います。

数野晴紀君

スマイル累計額 41,000円

■ 会長挨拶



渡邊博文会長

今年度の2023-24年度RI会長は、ゴードン R.マッキンリー氏スコットランドの出身の方です。お仕事

は歯医者さんです。テーマは、「世界に希望を生み出そうです」。今年の3月12日に会長エレクト研修セミナー(PETS)が静岡で開催されました。ロータリーは大きな国際的な組織です。烏合の集団にならないように、時代に即した組織運営をするため、セミナーを開催し、統一感を持たせることを思いました。

会長に指名された私は、2023-24年度を運営していくにあたり、「ロータリーとは、一体何なのか」ということを最初に自問しました。ロータリアン一人一人に問えば、それぞれの答えが返ってくるでしょう。

ロータリーを考えるにあたり、ポール・ハリスがなぜロータリーを設立したのか知ることが重要だと思います。彼は、仕事上の付き合いが、そのまま親友関係に発展するような仲間を増やしたいと、考えました。

ロータリークラブは、会員間の友情を、とても大事にする団体・組織だということです。

そして、倫理性も大事にしています。ロータリアンには、立派なモラルが求められています。混沌としたこの時世を、正しい方向に、歩んでいる姿、この事実こそがロータリーであり、ロータリアンではないでしょうか。

私たちが、このクラブに魅力を感じ、所属し、活動ができていることは、そこには、長きにわたり尊敬すべき先達の存在があり、友情と倫理を両立させているからでしょう。私たちが目指すべき姿や理想は、ロータリアンでありロータリーそのものだと思います。

ゴードン会長が仰っているなかでのキーワードに思ったことが、「継続」という言葉です。これはまた、「前進させる」ことも意味するとのことです。私が思うに、継続とは、コピーして繰り返すのではなく、時代や世相に合わせて、変化や進化を繰り返し、求められていることにしていくことだと思いました。

そして、「平和」もキーワードに感じました。世界情勢が混沌とした中、平和であることが私たちの経済活動、生活の安定、幸福感、地域での活動などが満たされることができます。

ロシア・ウクライナのことなどにしっかりと目を向け考えて、手を差し伸べていくことがとても大切なことだと感じました。

今年の2620地区のガバナーは、浜松ハーモニークラブの中村皇積さんです。私より年下のガバナーは初めてです。体も大きく、パワフルで行動力があり、革新的な方だと思いました。8月18日ガバナー訪問があります。お会いできることが、とても楽しみです。

2620地区第4グループのガバナー補佐は袋井クラブの内山治さんです。今年度も、グループ合同事業を行います。ウクライナ支援の募金活動です。エコパでラグビーの大きな試合があり、多くの来場者が見込めるときに支援活動募金を行う予定です。

来年度のガバナー補佐事務局の運営があります。関係者はオブザーバーで、会長幹事会や事業に参加してみたいかがでしょうか。

ポリオ撲滅もロータリーの最優先事項です。募金だけではなく、今年度は、「古着でワクチン」という、皆様のお宅に眠っている古着を回収してワクチン接種の資源にしていこうという事業です。これから、7月8月に開催される例会時に回収いたします。ご協力をお願いいたします。

まだまだ、皆様にお伝えしなくてはいけないことがたくさんありますが、今後また、都度都度と皆様のご協力とご支援のもとにロータリー活動を進めて参りますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

■ 幹事挨拶



富澤賢一幹事

2023-2024 渡邊年度に幹事という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

今日までの間、クラブ計画書を作成しながら一抹というより

も、かなりの不安を抱えながらも本日ようやくスタートできました。

これまでの約3年間は、コロナの影響で思うような例会が出来なかった年度もありますが、現在はコロナも5類となり通常の例会が行える年度であります。

当クラブの他のクラブにはない「面白さ」と「らしさ」を出しつつ、渡邊会長の方針でもあります「継続そして前進」を目指し渡邊会長、数野プログラム委員長と相談しながらエンジョイできる例会の進行をしていきますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
7/14(金) 第 1513 回	委員長挨拶	小杉苑
7/21(金) 第 1514 回	会員卓話	小杉苑
7/28(金) 第 1515 回	ガバナー補佐訪問	小杉苑
8/4(金) 第 1516 回	会員卓話	理事会

■ 今週の一言

渡邊博文君



「テーマ」は継続していることです。RI会長のゴードンマッキンリーさんもおっしゃっていること、言葉を引用しました。

また、会員の皆さんがそれぞれ生活の中で継続していることを知ること、その人の生きざまを知ることができると思い、決めました。

私の継続していることは、旅行や、出張でホテルなどに宿泊したとき、帰りがけに、散らかったお部屋の清掃をしてる光景をよく見ます。もしこれが、来た時と同じぐらい整理整頓してあれば、お互いにどんなに気持ちよくなるだろうと思いました。それからは、ベッド、洗面所、をきれいに、ごみはすべてごみ箱に、使ったコップはすべて洗っておくようにしました。家でも、朝起きて、ベッドのシーツ、枕、タオルケット、布団はきれいにしておくことにしました。自己満足ですが、継続していることです。

おめでとうございます！



新会員 小池吉徳君



(担当/森竹君)